

第5回 日野研究室・言語心理学勉強会のお知らせ

日時：2011年10月17日（月）14：00－18：00

場所：早稲田大学文学学術院（戸山キャンパス）第5会議室

内容

研究発表

1. 宇野彰先生（筑波大学大学院人間総合科学研究科） 「日本語話者における文字習得の背景となる認知能力 -典型発達児のコホート研究と発達性dyslexia児群の臨床的研究から-」
2. 日野泰志 「隣接語の意味活性化における形態情報の役割」

研究計画発表

3. 今関仁智くん（早稲田大学竹村研究室） 「無意味図形の好意度評価におけるプライミング効果の影響 - 潜在意味構造仮説の検証 -」

2011年度4月から開催してきた勉強会が今回で第5回目となります。学内、学外を問わずいろいろな方をお呼びして、実際の研究、研究計画、過去研究の評論などを自由に発表してもらい、互いに議論する場を設けようという趣旨で、この勉強会を開催しています。

今回は、筑波大学の宇野先生と日野が研究発表を行います。また、竹村研究室の大学院生、今関くんが媒介連合プライミング効果に関連する研究計画を紹介していただきます。興味がある方は、どなたでも、ご自由に、ご参加下さい。